

Q5： 学校が連携・協力できる地域の社会教育関係機関として、どのような施設や団体がありますか。

はじめに

児童生徒の心を豊かにし、「生きる力」を育む場である学校では、地域に根ざした特色ある学校づくりが求められています。ここでは、地域の教育資源として有効活用できる社会教育関連施設や団体との連携活動例を紹介します。

事例①
社会教育関係
団体

【団体名】家庭教育支援団体

管内6市町には、家庭教育に関する県の研修等を修了された方が中心となって組織している団体があります。(右の一覧参照)

矢板市：家庭教育オビニオンリーダー「ほっぺの会」
 さくら市：家庭教育オビニオンリーダー「ミミーの会」・「コンチの会」
 さくら市家庭教育支援チーム
 那須烏山市：県東親育ちマイルネット「ばれっと」那須烏山支部
 塩谷町：家庭教育オビニオンリーダーズ・アイ
 高根沢町：家庭教育オビニオンリーダー「たかね会」
 那珂川町：県東親育ちマイルネット「ばれっと」那珂川支部
 家庭教育オビニオンリーダー「こうまの会」

各市町の主な家庭教育支援団体名一覧

【連携による活動例】

就学時健康診断、幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・県立学校等での保護者会、家庭教育学級等での「親学習プログラム」等の実施により、保護者同士のつながりを支援したり悩みを共有する場を提供したりします。

その他、専門性を生かした連携活動が可能です。

【連絡先】・塩谷南那須教育事務所ふれあい学習課
 ・各市町教育委員会生涯学習課
 (那須烏山市についてはこども課「こども館」)



「親学習プログラム」実施の様子

事例②
高等教育機関

【団体名】国際医療福祉大学塩谷病院

【連携による活動例】

国際医療福祉大学塩谷病院では、小学校や幼稚園保育園等を訪問し、子どもたちや先生方を対象に手洗い教室を実施しています。

看護師による「エア手洗い」の実演や歌に合わせた手洗い、マスクの使用方法やうがいの方法等、専門知識をもつ看護師がチームで訪問し、アドバイスをしています。



「手洗い教室」の様子



【連絡先】国際医療福祉大学塩谷病院看護部 TEL0287-44-1155
 ※実施内容については、詳細を相談の上、決定となります。

事例③
NPO 法人

【団体名】NPO法人ふるさと未来S o u

【連携による活動例】

NPO法人ふるさと未来S o uは、高根沢町より『エコ・ハウスたかねざわ』の指定管理を受け、環境に関する様々な学習活動を実施しています。

小中学校においては、主に出前講座としてPTA主催の親子ふれあい活動の時間等にお箸やプレートづくり体験などを実施しています。他に紙すき、裂織(さきおり)、環境カルタ、分別ゲームなどがあり、学年に応じた体験活動ができます。



マイ箸づくり体験(小学校)

【連絡先】エコ・ハウスたかねざわ TEL028-680-2080

おわりに

3つの事例の詳細については、塩谷南那須教育事務所ふれあい学習課又は各市町教育委員会生涯学習課までお問い合わせください。